

令和5年度 事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

公益社団法人伊豆の国市シルバー人材センターは、平成2年の設立以来33年間にわたり、地域の高齢者へ就業機会の確保・提供をすることにより、働くことを通じて喜びや生きがいの充実と社会参加の推進を図ることによって、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に事業を推進してきました。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」へ移行したことを受けて、市内での行事や地域での活動が再開されるとともに、景気も緩やかな回復傾向にあります。しかし、不安定要素としての中東情勢・ウクライナ情勢の緊迫化や米国景気の悪化も懸念されており、不透明な経済情勢の影響が当センター事業にも出ています。

このような状況の中で、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づいて、伊豆の国市のご支援や各種団体及び発注者のご協力をいただきながら、財政の健全化と事業運営の効率化を進めるとともに、会員の確保・拡大、就業機会の拡大、安全・適正就業の推進に努め、地域社会に貢献することを主たる目的に事業の拡充・見直しに取り組みました。

その結果、令和5年度の事業実績は、請負・委任契約の受注件数 1,412 件（前年度対比 6.1%減）、契約金額 196,323,386 円（前年度対比 9.5%減）、就業延人員 35,845 人日（前年度対比 12.2%減）。派遣契約の受注件数 43 件（前年度対比 19.4%増）、契約金額 100,329,845 円（前年度対比 38.5%増）、就業延人員 13,510 人日（前年度対比 30.1%増）という結果となりました。

以下、主な事業の実施状況について報告します。

1 会員の確保・拡大

(1) 入会の促進

毎月20日の入会説明会に加え、毎週水曜日に就業相談員による個別面談を実施して新規入会者の増加を図りました。

(2) 退会の抑制

未就業会員に随時個別面談や電話等による就業(求人)情報の提供を行い、会員としていつまでも活躍できる環境整備を図りました。

(3) 女性会員の増加

女性限定の講座等を開催し会員との交流を通じ、センターの魅力をPRすることで女性の新規入会に努めました。

2 就業機会の拡大

(1) 就業先の開拓

就業開拓の方法等を見直し、多くの会員に就業機会を紹介できる体制整備を図りました。

(2) 会員の技術・技能の向上を図るため、以下の講習会を実施しました。

- ・草刈機講習会：後継者の育成を図る
- ・調理補助スタッフ講習会、清掃スタッフ補助講習会、学童保育補助員育成講習会：未就業会員に除草作業等を紹介して就業者の増加を図る

(3) 就業相談の活性化

毎月 20 日の入会説明会開催の外、就業相談員を設置するなどして、きめ細やかなマッチングを行うとともに、相談等を通じて会員一人一人の潜在能力の掘り起こしに努めました。

(4) 独自事業の推進

独自事業推進委員会を設置して「蛭ヶ島茶屋」の独自事業の活性化を図るとともに、新たな独自事業の開拓と会員の就業機会の拡大を図りました。

3 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の推進

安全・適正就業委員及び職群班が中心となって安全パトロールを実施し、安全就業の周知徹底を図りました。

(2) 安全意識の向上

就業前の「KY チェックシート(危険予知チェック)」を活用して会員一人ひとりの安全意識の向上を図りました。

(3) 就業の適正化

ローテーション就業の推進やワークシェアリングの徹底により、特定の会員に仕事が集中しないよう、就業の公平性と未就業会員の就業確保に努めました。

4 運営組織の活性化

(1) 運営組織の活性化

職群班リーダー会議を開催し、各職群班が抱える課題を共有するとともに、解決策を検討しました。

また、センター事業発展のため先進事例等の調査研究を実施しました。

(2) 会員組織の活性化

女性会員の職群班の枠を超えた交流を実施しました。

他市センターとの女性会員間の交流を実施しました。

(3) 事務局組織の活性化

各種研修会への参加及び他センターとの連携により職員の資質向上を図りました。

また、事業を円滑かつ効率的に推進するために毎月職員会議を実施しました。

5 SDGsへの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、会員の方々の希望や能力に見合った就業を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の福祉の向上と活性化に貢献しています。

当センターは、伊豆の国市をはじめ関係機関と連携し、一人でも多くの高齢者の方々に会員となっていただくとともに、センターの役割を十分に発揮することにより持続可能な社会の実現を目指しています。